

平成21年度 予算特別委員会 報告

(審査日 3月4日～12日) 委員長 鈴木 多津枝

3月議会初日に予算特別委員会が設置されました。4日～10日の内4日間、課毎に審査を行い、12日には北部地域振興センター（総合支所）と、21年度より子育て支援センターとなる元藤川保育園を現地調査した後、採決を行い、全予算を全員賛成で可決しました。審査で出された意見を抜粋して報告します。

一般会計予算

総務課関係

- ◎ 観光シーズンの交通整理業務委託料が336↓307万円に減額。崎平―小井平間の春の分を減らしたとの説明に徳山―沢間間を整備して一方通行にすべきとの意見があった。
- ◎ 長島ダム関連の3つの基金や総合支所建設基金は事業が終了した。残りは財政調整基金等に移すべきとの意見があり、将来的には考えるとの答えがあった。
- ◎ 総合支所の工事請負費3千795万円は外構工事、駐車場整備、仮庁舎解体工事費である。
- ◎ 防火水槽設置の国補助が4基以上ないとつかなくなったので今年度は見送り、今後に備えて土地購入費98万円を計上したとの説明。
- ◎ 5月より一般家庭でも義務となる火災報知器設置に補助の要望があった。

税務課関係

- ◎ 過誤納還付金が1千万円増の2千200万円に。不況による業績悪化で法人の予定納税還付が見込まれる
- ◎ 川根美味しいだけ補助1億9千70万円は国50%、県20%、事業主体30%、推進の責任は町にあるとの説明。

商工観光課関係

- ◎ 商工会活動費補助金1千450↓1千285万円に減額。人件費の精査など補助金要綱の改正が主な原因。
- ◎ 利子補給の減に不況下に逆行、商工会が半分負担をやめて全額町で支援強化をとの意見に、町単利子補給の信用保証協会は有利。要望が増えれば補正で対応するとの回答。

教育総務課関係

- ◎ 奨学金貸付金72万円は月1万円の6人分。1名利用。増額要望。
- ◎ 学校給食費値上げに、国を挙げて景気対策をしている時に値上げは逆行町の施策として地元野菜や特色ある食材を増やし、給食費の対象となる材料費から外して値上を避けるべきとの意見があった。

生涯学習課関係

- ◎ 文化協会補助金が見直しで230↓100万円に激減。活動を縮小させるのでは何の改革か分からないと批判があった。

町カヌー競技実行委員会解散はB&G主導で実行委員会の実態がないため。大会参加は人材育成等で支援する。B&Gのカヌー出前教室で底辺拡大に取り組むとの説明があった。

特別会計予算

国民健康保険事業

- ◎ 支払準備基金繰入400万円は、平成19

ため。町税も8千378万円減額。軽自動車税は100万円増を見込んだとの説明。

健康増進・保健福祉課

- ◎ 社会福祉協議会補助金約500万円減は福祉事業と介護保険事業での人件費を明確にした。
- ◎ 敬老会記念品代124↓64万円に。夫婦で80才表彰は不公平が生じるので中止したとの説明。
- ◎ 緊急通報システムサービスで孤独死は防げない。電気ポットを使えばランプがつく方法など改善が求められた。
- ◎ 乳幼児医療費扶助が約400万円増額。所得制限無しで中学卒業までに拡充。
- ◎ 20年度出生数は10人増で37人。

町民・住民課関係

- ◎ 21年度から廃食用油回収を始める。各戸へ回収容器を配布、精製してゴミ収集車に使う。回収から精製油の購入まで1ℓ約93円かかる。

建設・事業課関係

- ◎ 飲料水供給施設の中央監視システム整備費5千654万円は町直営となる5つの飲水の状況が現場に行かなくても庁舎内で分かる設備。職員が減る中で将来を考えての投資との説明があった。
- ◎ 農地費の329万円増は茶園造成が終了した久保尾地区（ヒロラ）の茶園入り口道路130mを県補助200万円を受けて舗装する。
- ◎ 地籍調査費2千150万円は国県より強

年度に積立てた2千万円を5年間で取り崩して国保税値上げを避ける。

後期高齢者医療事業

- ◎ 広域連合納付金1億1千449万円は75才以上の保険料9千205万円と、保険基金安定繰入金2千244万円（町負担561万円、県負担1千683万円）。

介護保険事業

- ◎ 居宅介護サービスで6千600万円増額、施設介護サービスで2千514万円減額は施設から在宅への効果かとの質問に、居宅介護でも訪問介護は減っているが、小規模多機能施設の増設計画で増やしたとの説明があった。
- ◎ 介護予防事業や任意事業に福祉事業を入れるのは保険料値上げにつながる。一般会計でやるべきとの意見があった。
- ◎ 65才以上の保険料が基準額で月430円値上げ。

温泉事業

- ◎ 一般会計繰入金1千596↓1千882万円に増額。3年に1度の温泉タンク清掃委託料51万円と工事費で210万円増が原因との説明。

いやしの里診療所事業

- ◎ 代診医師療日の減で休診日が増えるので、看護師による健康指導等を考えているとの説明があった。
- ◎ 外来収入3千89↓2千954万円。下げた理由は一日平均患者数実績を反映したとの説明。

い要望があるが、補助は497万円、このペースだと20年かかる。21年度からは県森連がGPS衛星で調査を行うとの説明があった。

企画環境・観光課関係

- ◎ 道路維持費の小規模修繕委託料を緊急雇用分を含んで600↓1千800万円に増額。箇所付けなしとの説明があった。
- ◎ 急傾斜地崩壊対策事業負担金が650↓2千315万円に増額。総額で3億円余の事業となる。
- ◎ 女性の会補助金80↓35万円に。運営費の½で見直した結果との説明。支部を解散する地区も出ており、支部と本部の関係改善や会員の負担解消、支部への補助創設等の意見が出された。
- ◎ 自然エネルギー活用機器設置費補助金108万円が創設された。
- ◎ 緊急雇用や景気対策で、発注は地元業者へ雇用は町民へ、なるべく早くなどの要望が相次いだ。

産業課関係

- ◎ 茶業協同組合補助金206万円に人件費への補助はないかとの質問。総事業費2千805万円中335万円を当町と島田市で補助。残り2千469万円を組合員が出すとの説明があった。
- ◎ 多面的茶園の維持確保対策補助金200万円は耕作放棄地の再生支援補助。
- ◎ 小型製茶機にも補助をとの意見に、要望があれば国・県補助も含めて対応するとの返事があった。

平成21年度 当初予算

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
一般会計	53億1,400万円	60億8,200万円	56億2,000万円
国民健康保険事業	10億5,100万円	10億9,700万円	10億1,100万円
老人保健	720万円	1億2,700万円	11億7,390万円
後期高齢者医療事業	1億1,450万円	1億1,160万円	—
介護保険事業	9億4,770万円	8億6,070万円	8億5,520万円
簡易水道事業	2億4,430万円	2億4,720万円	3億9,940万円
温泉事業	2,360万円	2,090万円	2,240万円
いやしの里診療所事業	4,010万円	4,380万円	3,880万円



元藤川保育園での現地調査